

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東海)	◎	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・例年2月は動きが悪いが、今月は問合せ、乗客数、売上共に良かった。
	◎	その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	来客数の動き	・住宅のリフォーム・新築、老朽化した設備のリニューアルといった企業の設備投資や店舗改装工事など、今月は今までにない工事依頼があり、数件を断った。
	○	スーパー（店長）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が延長するなか、まだまだ家族感染を中心に新規感染者数が増加し、学校や学級閉鎖による子供の昼食需要で弁当、総菜や菓子等が売れていることが売上増加につながっている。
	○	コンビニ（店長）	単価の動き	・来客数は前年と全く同程度であったが、客単価が30円ほど高かったのが大きい。企業アプリのクーポン販促の効果が大きかった。
	○	衣料品専門店（売場担当）	来客数の動き	・繁忙期ということもあり来客数が最も多くなっている。ただし、まだまだ下見が多く、購入する客も、1人当たりの買上点数は変わらないが、値段が安いセットを求める客が増えている。以前は黒の就活スーツ、入学式スーツと成人式の色物のスーツを購入する客がいたが、成人式でも黒のスーツで中を派手にすればよいという客も増えている。
	○	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による工場の稼働状況や半導体不足などにより新車の生産が遅れているが、長期納車を見越して注文する客も増えている。影響を受けながらも動き出しているように感じる。
	○	住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・3月以降の新築物件、リフォーム物件等の見積りが多くなってきている。
	○	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置で大変だが頑張っている。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症は収まってきたような気がするが、ウクライナ侵攻で五分五分である。
	□	商店街（代表者）	販売量の動き	・来客数は変化ないが、客単価が低い。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株が急速に拡大してなかなか沈静化に至っていないため、皆かなり自粛している。
	□	一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症は終息がみえてきたような気がするが、24日から始まったウクライナ問題がどのように展開するのか不明であるためなかなか難しい。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・特に平日の来客は例年と比べ2～3割少ない。やはり新型コロナウイルスの感染が影響しているようで、必要な物を買ったらすぐ帰る客が多い。
	□	一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・前月に続く年度末の残予算消化があり横ばいである。それも今月でほぼ完了するため、来月からは販売数が減少すると思われる。
	□	百貨店（販売担当）	来客数の動き	・テナントビルの催事があったが、まん延防止等重点措置の延長で状況は変わらず、回復には至らない。
	□	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数、買上点数に大きな変化がない。
	□	スーパー（店長）	来客数の動き	・まとめ買い需要が高くなり、より安価な物への関心が高くなっている。
	□	スーパー（店員）	単価の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数が高止まりしている影響か、巣籠りで菓子や果物などが全般的に売れている。ただし、飲食店への卸などのマイナスも大きく響いている。
□	スーパー（販売担当）	お客様の様子	・自粛によって内食が進んでいる。価値のある物なら、安くなくても売れる。ひな祭りケーキの予約も好調だった。	
□	スーパー（営業企画）	お客様の様子	・新規感染者数の減少も緩やかで、まん延防止等重点措置も継続されてはいるが消費傾向は大きく変わっておらず、コロナ禍のなかでの生活スタイルが定着しているように思われる。	

□	コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置が継続しているが、人出は大きく減少しておらず1月後半の水準が続いている状況である。駅ナカの店舗は祝日が2日あったことの影響により、前月より売上が減少している。
□	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の流行により人流が減っており、回復の兆しがみえない。
□	コンビニ（店長）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が適用されてから特に来客数が減っている。したがって、まん延防止等重点措置が解除されない限り、景気が良くなることは見込めない。
□	コンビニ（店長）	来客数の動き	・売上はそこまで減っていないが、来客数が減少傾向のなかでたまたま客単価アップの施策が当たっている。しかし、まん延防止等重点措置の延期次第では厳しくなるおそれがある。
□	コンビニ（本部管理担当）	来客数の動き	・今月の売上は前年比101.4%であった。コロナ禍がピークを迎えるなか落ち込みを覚悟していたが、前年と同水準を確保できた。世間のコロナ禍のニュースは悲壮感が漂うが、実態は現状を維持している。
□	家電量販店（営業担当）	来客数の動き	・来客数において依然前年を下回った状況である。
□	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・いまだに受注はできても納期が遅れたり未定の状態が続いている。こうなると需要期であっても客の動きが鈍くなってくる。ここまで納期が全体的に遅れる現象は経験がないので、非常に厳しい決算需要期になると言わざるを得ない。
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車の受注は例年どおりであるが、納車時期がますます見通せなくなっている。
□	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車の受注も順調で新車の販売台数も前年並みで推移しているが、ほとんどの車の納車が半年～1年近く掛かる。納期が掛かるため早めに注文を受けているだけで納車はできないため、売上には全くつながらない。ただし、中古車が高額で推移しているため、3年未満で新車に乗り換える客が増えている。
□	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が余り改善してこないため、客に積極的なアプローチができない。身近なところでも感染が拡大しており、客も感染しないようより注意していると強く感じる。新型車両が発表されたが今後の納車状況もはっきりせず、なかなか客には安心して商談に向き合ってもらえない。
□	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・半導体等の問題で生産制限が長引いており、思うようには売上が上がらない。納期の長さを聞いて購入を諦める客もいて、決算の時期としては非常に痛い状況である。
□	その他専門店【書籍】（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で休園や休校なども多くあり、平日から家族連れの姿を見掛ける日が多かったが、前年までの巣籠り需要も少ないため、前年よりは5%ほど売上が減少した。
□	一般レストラン【居酒屋】（経営者）	それ以外	・まん延防止等重点措置の影響である。
□	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株を心配して来店を控える客が増えているが、それ以外の客は通常どおり来店してくれるため、余り変わらない。
□	一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・サービス券を使う客が増えたように感じる。
□	観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が延長され、宴会はもとより宿泊もぱったりと止まった。食堂は特に夜の利用が減り、一部のレストランでは今まで行ったことのない予約制にせざるを得なくなった。全館で前年比100%だが、新型コロナウイルス発生前の30%以下である。
□	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・依然として新規感染者数は減少しておらず、飲食業などの来客数は横ばいであり、旅行代理店では店舗縮小が進んでいる。ターミナル駅の地下街でも空き店舗が目立ち始めており、新規入居者が決まらないままである。

□	旅行代理店（営業担当）	それ以外	・中小旅行会社にとっては、県民割やGo To Travelキャンペーン等の施策は損益に直結する施策であるため、まん延防止等重点措置による実施延期が続くと申込みはなく、逆に取消しが相次ぐ状況に追い込まれる。今年に入ってから底辺が続いている。
□	旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・団体旅行の取扱がないと数字的な回復は難しいが、旅行を計画する動きすらない。
□	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・解約数こそ前月よりは落ち着いているものの、新規契約者数は依然として低調で、折込、ダイレクトメール等への反応も薄く、人が動いていない印象を受ける。
□	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・北京オリンピックとまん延防止等重点措置で少し出控えがあったが、北京オリンピック終了後は来客が戻ってきた。
□	観光名所（案内係）	お客様の様子	・長居をする客が減っている。
□	その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の延長もあり、観光列車や休日の利用客は少なめである。
□	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	販売量の動き	・福祉用具レンタルでは、例年と比べ解約が少なかったが、新規契約も伸び悩んだ。
□	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・コロナ禍も若干収束傾向がみられる。販売量は横ばいだが、改善に向かっていくと思われる。
□	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	販売量の動き	・賃貸業界では繁忙期を迎えているが、例年よりも販売量が減少している。
▲	商店街（代表者）	販売量の動き	・年明けから売上はかなり低位で推移しているが、今月は特にひどかった。人出自体が少ないこともあるが、消費者の財布のひもがかなり固い。
▲	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・想像以上に新型コロナウイルスの感染が広がり、日常生活や経済が停滞している。客の財布のひもは固く、来客数及び売上も良くなかった。少し良くない方向に向かっている。感染症対策のために日常の経済活動が自粛され、3か月前と比べて一段と厳しくなった。県下ではまん延防止等重点措置が延長されている。
▲	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置の影響があった。
▲	百貨店（売場主任）	それ以外	・3月から春物の新作が入荷予定であるが、全体的に海外からの入荷が遅れており、4月か遅ければ5月になるようである。商品も入ってこないし入替えのメーカーもある。来店する客は新型コロナウイルスを気にしないで来ているようだが、来客数自体はまだ少ない。
▲	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数の急増や厳しい寒さなどもあり、来客数が急減している。株価の下落などによる資産効果のはく落などもあり、高額品の需要の伸びにも鈍化がみられるようになり、売上は厳しい状況である。
▲	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・2月20日までであったまん延防止等重点措置が3月6日まで延長され、感染症対策を徹底しつつあと2週間を乗り越えようと、外出は最小限にとどめている様子である。来客数は前年の10%減で推移している。
▲	スーパー（経営者）	お客様の様子	・飲食店は新型コロナウイルスの影響でまちまちだが、中小小売店は来客数、買上点数が若干減少している。
▲	スーパー（店員）	販売量の動き	・値上げにより販売金額は上がってはいるが、数量ベースで落ち込みがみられる。
▲	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・販売量が減っている。
▲	コンビニ（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症はまだ落ち着かないが、感染対策をしながら外食をする人が増えてきたように思う。

▲	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・年配のなじみ客は元々外出を控えているため、こちらから積極的にアプローチはかけていない。半額の広告を見て来店する一見客は、半額でも高すぎると購入しない。低価格帯のアパレルがブランド化しているため、新型コロナウイルスの感染が収束しても、購入してもらおうのがますます難しくなる。
▲	衣料品専門店 (店長)	お客様の様子	・客の業種や規模によって状況は二分される。どちらかといえば大きい会社は良く、小規模の会社や個人事業主などは厳しい状況という話を耳にする。外国人を労働力として活用している会社も、人が集まらないため厳しい状況にある。無駄な物を買わないという買物志向はなお続き、慎重な消費行動がうかがえる。
▲	衣料品専門店 (売場担当)	お客様の様子	・外商客に高額品等を提案すると、年末頃は購入につながっていたが、最近は関心を寄せてくれなくなった。
▲	衣料品専門店 (販売企画担当)	競争相手の様子	・まだまだコロナ禍で、ファッションを楽しむ空気になっていない。バーゲンセールも振るわず手詰まり感があり、現状維持も厳しいところが多い。
▲	家電量販店 (店員)	販売量の動き	・売上が良かった前年を更に上回るペースできたが、失速してきた。来店頻度が減っている。
▲	家電量販店 (フランチャイズ経営者)	単価の動き	・1月はプレミアム付商品券の締切り月でもあったため、新型コロナウイルス発生前と比べても売上が2割ほど良かったが、2月に入ってその反動で客単価が伸びない。テレビ、エアコンやPCは巣籠り需要で買換え、買い増し共に先食いしており、その影響もありそうである。
▲	乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・半導体不足の影響で在庫が非常に少ない状況である。
▲	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・従来であれば盛り上がりを見せるこの時期になっても、良くなるどころか前月よりも販売量が落ちてきている。少なかった商品在庫も更に減り、予約受注も一向に増えない。
▲	高級レストラン (経営企画)	来客数の動き	・前回のまん延防止等重点措置の時期と比べ、新規感染者数が多いこともあり、密集となる可能性のある飲食店を避ける傾向が見受けられる。特に、ディナータイムは大幅な落ち込みとなっている。
▲	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・2月に入り当県でも新型コロナウイルス新規感染者数が急激に増え、それに伴い客が急に来店しなくなった。20日以降は例年並みに戻っているが、予断を許さない。
▲	その他飲食 [仕出し] (経営者)	単価の動き	・ロシアの問題とコロナ禍の問題、この2つは少し痛い。
▲	その他飲食 [ワイン輸入] (経営企画担当)	販売量の動き	・まん延防止等重点措置の延長は、従来よりも影響が大きかった。飲食店を販売先にもつが、消費者が一斉に自粛に動いたとのことであった。2月は元々消費者の大きな動きはないが、それ以上にまん延防止等重点措置による自粛ムードの醸成は強かった。
▲	都市型ホテル (営業担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い打つ手なしの状況である。
▲	タクシー運転手	お客様の様子	・成人式の辺りから客の動きが悪くなっている。まん延防止等重点措置の延長も発表され、売上は、昼もやや落ちているが夜に関して非常に減っている。まん延防止等重点措置が出てからは、どの企業も感染が怖いので会食を控えている。
▲	通信会社 (営業担当)	販売量の動き	・工事の延期により、低迷している。
▲	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・年度末が近づくと本来は繁忙期となるはずが、新規注文が急にキャンセルになったり、老舗の宅配弁当事業の客が自己破産となるなど、悪くなっているように思う。
▲	テーマパーク (職員)	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株が落ち着くまでは、来客数が期待できない。
▲	テーマパーク職員 (総務担当)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が適用されてから、来客数が減少している。

▲	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・今月の入場者数は、前年比及び予算比共に非常に悪かった。今年は寒波や降雪の日が多く、ゴルフ場にとっては最悪の2月となったが、今月は天候による要素が大きく、景気としてはやや悪いにとどまった。
▲	理美容室（経営者）	来客数の動き	・給料は上がらないのにいろいろな物の値段が上がって、段々と景気が悪くなっている。
▲	美顔美容室（経営者）	来客数の動き	・家族が新型コロナウイルスにり患したり濃厚接触者になったりして、来店を控える客が出てきた。
▲	美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響である。
▲	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大で来店を控える客が増えたため少し悪くなっている。
▲	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・今のところ計画案件すらない。
▲	設計事務所（職員）	お客様の様子	・政府の景気対策は、どちらかというと後回しになっている気がする。
▲	住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・分譲住宅の用地が少ないため、分譲業者が土地の値段が少し高くても購入している。土地価格が高いと分譲値段が上がり、先行きが不安である。
▲	住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・分譲住宅の売行きが悪くなっているように見受けられる。
▲	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	お客様の様子	・例年2～3月は個人も企業も移動が多いが、今年も新型コロナウイルスの影響で移動が少ないため、目先の売上が見込めない。景気回復はまだまだ先と感じる。
×	商店街（代表者）	販売量の動き	・来客数が減ったこともあるが、土産類の売上が非常に減少している。
×	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・社内で新型コロナウイルスの感染者が出たため、営業を自粛している。
×	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大によって、この地域もまん延防止等重点措置でまたもや地域間移動シャットダウンの対象となった。1月後半から目に見えて観光客の姿が減って、みじめな状態が続いている。自宅療養という名の医療放棄で感染拡大は歯止めが利かない。
×	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置の適用で、取引先の飲食店の9割が休業し営業する店も半数が週末のみの営業となり、飲食店向けアルコールの販売は9割以上減少した。
×	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの第6波によって出控えや巣籠りを余儀なくされており、客の飲食やレジャーへの消費マインドは大きく冷え込んでいる。
×	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置により、来客数がかなり減っている。
×	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・第6波の驚異的な新型コロナウイルス感染拡大が影響を及ぼしている。
×	百貨店（業績管理担当）	販売量の動き	・3か月前は緊急事態宣言明けからの影響もあり売上が大きく改善していたが、1月中旬～2月中旬にかけては、まん延防止等重点措置の影響で売上、来客数共に反動で減少している。新規感染者数が高止まりか僅かに減少傾向となり始めた2月中旬からは、少しずつ売上、来客数に改善の兆しがみられる。
×	百貨店（計画担当）	お客様の様子	・コロナ禍の状況が続き新規感染者数が高止まりしており、来客数が減少している。ただし、富裕層の買上意欲は特に減退していない。
×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により、今月も来客数が大幅に減少している。前年夏の新型コロナウイルス変異株が流行していたときよりも落ち込みは大きい。2月は年間で一番売上が悪い月ではあるが、それを更に悪化させており、ファーストフードや飲料類の売上が著しく悪い状態となっている。
×	コンビニ（店長）	販売量の動き	・酒類の売上の落ち込みが大きい。かつて百均が現れて雑貨が売れなくなったように、酒類も価格の安いドラッグストアでの購入が広がっているように思われる。

	×	コンビニ（商品企画担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の延長により引き続き客足が鈍く、一部の店舗では営業時間を短縮して対応している。
	×	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・車がでか上がってこないの、ある程度の契約は取れているが全く登録できず売上にならない。景気は非常に悪い。
	×	その他専門店【貴金属】（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる影響が大きく、商店街内の飲食店が軒並み閉店しており、通行客が減少している。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・人が出ていない様子である。来客数がとても少なくなっている。
	×	一般レストラン（従業員）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置のため、営業は夜9時、アルコール提供は夜8時まででやっているが、なかなか客が来てくれない。
	×	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・1月下旬にまん延防止等重点措置が適用されてから、非常に景気が悪くなった。需要がなかなか戻ってこないため3か月前と比べてかなり悪い。飲食が夜8時まで営業できても、人流そのものが止まっている。
	×	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置のため宴会はなし、宿泊は大幅減で、レストランはランチが少し入るのみである。
	×	旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大に伴うまん延防止等重点措置の延長により需要が低下した。今後の緩和に期待したい。
	×	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置の影響で、年明けからの旅行の受注がゼロとなっていて、かなり厳しい状況である。
	×	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置の延長も当県だけでなくほぼ全国的な状況で、旅行どころの雰囲気ではないため、予約の取消しばかりである。新規についても通常のような契約状況ではない。少し様子を見ている感じで、客からも、3回目の新型コロナウイルスのワクチン接種後に安心できるくらいの新規感染者数にならないと心配で旅行どころではないと言われた。
	×	レジャーランド（職員）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が適用されており、来場者は感染状況が落ち着いていた3か月前と比べると著しく少ない。
	×	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きが悪くなっている。
	×	理容室（経営者）	お客様の様子	・まだ新型コロナウイルスの感染が落ち着く気配がない。
企業 動向 関連 (東海)	◎	不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・大都市圏の価格が少しずつ上昇している。
	○	会計事務所（職員）	取引先の様子	・雇用調整助成金を受給していた顧問先が、申請しなくなったり、申請の規模が縮小したりしている。
	□	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量をみても前年比で減少している。
	□	化学工業（総務秘書）	それ以外	・今月は景気の変動を余り感じなかった。新型コロナウイルス感染症は第6波が継続しまん延防止等重点措置も適用されているが、街の景況感に変動はない。景気が落ち込んだ印象はない一方で、北京オリンピックが終わりウクライナ侵攻など海外での出来事が憂慮され、鬱々と過ぎている。
	□	窯業・土石製品製造業（社員）	取引先の様子	・製品によっては同業他社に製造を依頼しているが、半年くらい前からどこも繁忙で納期が長くなっている。
	□	金属製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格は従来の水準であるが、原材料を始め仕入価格が上昇している。利益が出ない状況である。
	□	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北米地域でも引き合いは増えてきたが、部品不足により新規製作では納期が間に合わないため、在庫製品がよく売れている。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・今のところ新型コロナウイルスオミクロン株の影響は大きくない。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ここ数か月間、購入量は全く変動がなく受注量は横ばいである。

□	建設業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で滞っていた仕事が出ているが、元々決まっていた仕事の遂行である。来年度予算等も、見込みより少し減少する形で出てくるという話をよく聞く。
□	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・客先の業種により受注量に差がある。機械・工事関係からはそこそこ仕事の引き合いがあるが、自動車関連の仕事は、メーカーが減産体制にあるため動きが鈍い。トータルで考えると、それほど大きな変化はない。
□	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・取扱荷物量は前々年、前年同月と比べると減っている。景気は、上向いていないという意味で変わっていない。
□	通信業（総務担当）	それ以外	・新型コロナウイルス感染によるまん延防止等重点措置が続き、人々は移動制限に従順に従っているため、景気動向には何も変わりがない状況である。
□	通信業（法人営業担当）	それ以外	・良い点として、年金運用益や企業倒産件数の数字には明るさがみられるが、良くない点は、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数がいまだ高止まりしていることである。また、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済への打撃、ガソリン、エネルギーや小麦粉等の価格上昇等、消費者にとっては好ましくない状況である。
□	金融業（従業員）	取引先の様子	・業種によって状況が大きく変わる。飲食店は、まん延防止等重点措置の影響により芳しくない。自動車産業などは、半導体などの部品が入らないこともあり工場では忙しい部署と暇な部署がある状況が続いているようで、どちらともいえない。
□	不動産業（経営者）	それ以外	・例年同様に晴れの日が多いが、新型コロナウイルス新規感染者数が2月中旬頃までは急激に増加したことから、遠出する人が減少傾向にある。多少はその影響を受けているが外出自体はあることから、売上は前年と同程度で推移している。
□	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株によるまん延防止等重点措置が延長になったこともあり、客も思い切った広告戦略が打てず、横ばいが続いている。
□	その他非製造業 〔ソフト開発〕 （経営者）	取引先の様子	・ここ数か月は受注も低調で大変苦慮しており、各社も同様のようである。工場の生産が停止しては新しい発注は難しい。部品の入荷も相変わらず良くない。
▲	食料品製造業 （経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスによる閉塞感、停滞感が収まらず、消費マインドは低調である。
▲	パルプ・紙・紙加工品製造業 （顧問）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の拡大により、新型コロナウイルスのワクチン接種は進んではいるものの、経済への影響は大きい。受注量、販売量が減少しており景気はやや悪い。
▲	化学工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で香料等の食品用容器販売が低調であった。また、電子材料薬品は在庫調整で出荷量が減った客先があった。
▲	金属製品製造業 （従業員）	受注価格や販売価格の動き	・受注状況は芳しくなく、安値受注も出てきている一方でステンレスや鉄の価格高騰は止まらず、収益状況が良くなるとは思えない。ただし、足元の仕事量はどうか前年比で下回らない程度ある。
▲	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が拡大して、客先の業界では設備投資が難しくなってきた。全体的に設備投資の需要が少なくなり、メーカー間の競争が大きくなって小規模な会社は仕事を奪われ、当社としては苦しい。
▲	電気機械器具製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・前年末の半導体不足の影響により、通信機器の生産が止まるまではいかないが原材料費は高騰している。販売価格の見直しはするが利益率低下は免れない。しばらく影響は続きそうである。
▲	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・金属類の価格が毎月どんどん上がっており、受注価格と比べると原価率がとても高くなっている。

	▲	輸送用機械器具製造業（管理担当）	それ以外	・いろいろな物の値上げが続いている。ガソリン価格が下がらないことから外出を控えている。
	▲	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で完成車メーカーが工場を一時停止した影響を受けて、業績が多少悪くなった。
	▲	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・生産財メーカーの物量が前年を少し下回り始めた。消費財の物量は前年マイナス6%程度でここ数か月推移している。
	▲	通信業（法人営業担当）	取引先の様子	・自治体向けの営業活動では、特定のお題を限定した提案依頼が従前よりも多数上がってくる。新型コロナウイルス関連の交付金や補助金などの類で公的一時金のばらまきがされているためであるが、各自治体の取組は民間企業や住民の景気回復や消費喚起につながるようには思えず、戸惑いながら提案している。
	▲	金融業（従業員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、居酒屋等が休業を続けている。物価の上昇も、今後の景気に影響を与えるように感じる。
	▲	金融業（企画担当）	取引先の様子	・コロナ禍に加えウクライナ情勢もあり、株価が下落していることから、個人投資家の含み益が減少し投資への意欲が減少している。当面は動かず様子見という個人投資家が多い。
	▲	不動産業（開発担当）	それ以外	・不動産価格は高止まりしている。また、世界情勢が悪化している。
	▲	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・折込チラシの受注が減少している。
	▲	公認会計士	それ以外	・中堅・中小企業の業績が悪化している。中堅・中小企業の従業員の給与・ボーナスは、横ばい若しくは減少している。
	▲	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注量や販売量の動き	・売上単価の低いアフターサービスが多く、新規受注が落ちている。
	×	鉄鋼業（経営者）	取引先の様子	・客の受注状況や発注状況が、年明けから大きく後退している。通常ならば新年からの需要で受注量と見積り件数がアップする時期であるが、今年は例年の半減という印象である。
雇用 関連 (東海)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（企画統括）	求人数の動き	・前月下旬頃から派遣の求人数が増加傾向にある。
	○	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・契約に至る件数は少ないが、主要客の自動車メーカーでの4月業務開始の派遣募集が増加している。
	○	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスオミクロン株感染拡大の影響は残るが、年度末に向けて出稿量は回復の兆しがみられる。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・飲食・宿泊や卸小売業等の求人数が、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数の増減には影響を受けにくくなっている。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月と比べ増加傾向にある。製造業のうち主要業種である輸送用機械器具製造業の求人数は、半導体等の部品供給不足の影響が改善して回復基調にあることから、前年同月と比べ増加が続いている。業種全体の有効求人倍率も令和3年7月から1倍台で推移し、好調を維持している。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響は残りつつも、求人者からは人手不足の声が多い。ただし、元々人手不足の分野での求人が多い。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・業種による差はあるものの、全体として求人数が増加傾向にあり、特に製造業で伸びている。
	○	職業安定所（次長）	求人数の動き	・業界によって新型コロナウイルスオミクロン株の影響に差はあるものの、有効求人数は全ての職種で前年同月を上回っており、求人数の増加が続いている。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き	・4月入社に向けて企業側の採用意欲が高まり、求職者側の年度替わりでの転職意欲も含め、相乗効果により採用活動が前進している。

□	人材派遣業（営業担当）	周辺企業の様子	・生産回復へ向けた人材確保が思うようには進まず、特に外国人労働者は、新規入国停止の影響で増やすことができない。3月以降に再開されたとしても、どれだけ不足分を取り戻せるか不透明である。
□	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・まん延防止等重点措置の延長で、ホテル業界に先の見通しが立たない。
□	人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・4月採用に向けた動きは一旦落ち着き、ゴールデンウィーク明けまで企業の採用意欲はさほど上がらないと考える。
□	アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・自動車製造関連において、コロナ禍の部品供給不足と半導体不足による稼働停止が改善されず、人材供給の労働者派遣会社や構内請負会社についても、厳しい状況が続く。
□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数は高止まりしており、消費マインドにも影響を及ぼしている。企業活動は悪い状態で停滞したままである。
▲	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・派遣求人数は3か月前比ではやや減少も、前年同月は上回り、前々年と同水準まで回復している。
×	—	—	—